

浄土宗西山禅林寺派

浄土宗西山禅林寺派宗務所は京都市の永観堂にあります。

照明についてはLED照明への移行を進めており、現在は各諸堂内の照明は間引きしておりますが、玄関や拝観路の照明の間引きについては検討中です。

事務所においては、使用頻度の低いエリアはこまめに消灯を心掛けており、主たる場所での照明の間引きや、昼休みの消灯について検討しております。室温は28℃に設定。扇風機などの併用で空調効率を上げ、温度計を設置して実温度と設定温度を把握できるようにしております。

事務機器については、業務終了時に電源を切ることは勿論のこと、パソコンやプリンターなどは省エネモードに設定し、昔ながらの「すだれ」やグリーンカーテンを設置するなどして、電気の使用量を昨年より10%減らすことを考えております。

将来は宗務所全室をLED照明に切り替え、年間を通した省エネ対策を計画しております。すべての照明の約3割程度が、LED照明への切り替えを完了しておりますが、一層の進捗を計る予定です。

原発の再稼働や、火力発電によるCO₂の増加が懸念されます。今後は、機関誌を通して宗内寺院に向けて節電の推進を依頼することと考えております。

